

# 2019年度 事業計画

## 2019年度事業計画

(1)本 部 .....	1
(2)盲人ホーム杉光園 .....	9
(3)東京視覚障害者生活支援センター .....	10
(4)検定試験事業 .....	12

社会福祉法人  
日本盲人社会福祉施設協議会

# 2019 年度 事業計画

自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日

## 日盲社協本部 2019 年度事業計画

### 《はじめに》

今年の日盲社協の全国大会は、6月20日（木）～21日（金）に北海道の帯広市で開かれる。遠いけれど、みんなで皆さんと一緒に、楽しみたい。皆様のお出でをお待ちしている。

今年は理事・監事・名誉会長・顧問・参与の2年に1度の改選期になります。辛抱強く実りある役員者の活動が待たれるところです。

最近、視覚障害者の大震災時における支援対策本部の体制が作られている。日本盲人福祉委員会では、日本盲人会連合、日盲社協、全国盲学校長会、日盲委内の災害対策本部が連絡の中心になっている。今年も災害を克服して、助け合いたいものだ。

今年は参院議員選挙があり、点字印刷が忙しくなる。また、来年のオリンピックを迎えてスポーツも盛んで、障害者も張り切っている。しかし、これらの流れがどの程度障害者を支えているか、よく確認したい。大きな仕事は表と裏をしっかりと捉えたいものだ。

### 《本部事業》

#### 1. 役員会等の開催

理事会	3回
評議員会	2回
常務理事会	随時

#### 2. 委員会活動

日盲社協社内検定試験運営委員会および実施委員会の開催

#### 3. 第 67 回全国盲人福祉施設大会の開催

期日	2019 年 6 月 20 日(木)～21 日(金)
場所	北海道ホテル(帯広市西 7 条 19 丁目 1 番)
主管	社会福祉法人ほくてん北海点字図書館

#### 4. 第 20 回点字技能検定試験(日盲社協社内検定試験)の実施

試験会場	東京・大阪・名古屋・福島
試験日	2019 年 11 月 17 日(日)

#### 5. 広報事業

「日盲社協通信」の発行（2回）

6. 福祉関係団体への参加と活動

日本盲人福祉委員会、日本障害者協議会、日本点字委員会、日本失明予防協会、  
障害者放送協議会

7. 「日盲社協災害対策委員会」の立ち上げ

日盲社協として、日ごろの災害対策と大災害時の災害支援のあり方とその実行の  
中心になる。

8. その他の事業

(1) 叙勲、褒章等表彰者の推薦

## 《各部会事業》

### 点字出版部会

1. 点字図書出版速報の発行
2. 点字出版図書のデータベースのデータ維持
3. 点字出版図書総合目録点字版（平成 31 年度版）の発行
4. 委員会活動
  - (1) 点字サイン JIS 規格普及促進委員会
  - (2) 新・点字図書給付事業検討委員会
  - (3) 自治体広報啓発委員会
  - (4) 点字製作物審査委員会
5. 「選挙公報」点字版製作の普及・拡大に向けた活動
6. 『点字出版物製作基準』の製作について
7. 自治体広報発行の普及活動の実践について  
「自治体広報啓発委員会」の活動
8. 点字普及の取り組み  
「点字製作物審査委員会」の活動
9. 事業部会  
場所：北海道帯広市  
時期：2019 年 6 月 20 日（木）
10. 中間部会の開催〈予定〉  
場所：東京・ロゴス点字図書館  
時期：2019 年 8 月 23 日（金）
11. 職員研修会の開催〈予定〉  
場所：東京都  
時期：2019 年 11 月 28 日（木）～29 日（金）
12. その他
  - (1) 部会内役員会の開催
  - (2) 関係機関との調整・打ち合わせ
  - (3) その他

## 情報サービス部会

### <基本テーマ>

部会の専門性を活かした活動を展開するとともに、前年度に引き続き視覚障害者等の読書環境の向上及び情報化対応支援の充実を目的として次の各事業を実施する。

#### 1. 部会総会の開催

##### 通常部会総会

- 日時 2019年6月20日(木) 16:10~17:40  
会場 帯広市「北海道ホテル」  
議案 1 2019年度運営体制・各委員  
2 2018年度事業報告及び同決算報告並びに監査報告  
3 2019年度事業計画案及び同予算案  
4 その他  
① 第67回全国盲人福祉施設大会決議文案  
② その他特別委員会関係

#### 2. 運営委員会の開催

- 第1回 日時 2019年6月19日(水) 13:00~16:00  
会場 帯広市「北海点字図書館」  
議案 1 2019年度運営体制・各委員  
2 2018年度事業報告案及び同決算報告案  
3 2019年度事業計画案及び同予算案  
4 第67回全国盲人福祉施設大会決議文案  
5 部会総会役割分担
- 第2回 日時 2020年2月(日未定) 13:00~17:00  
会場 東京都「TKP品川カンファレンスセンター」  
議案 1 2020年度運営体制・各委員について  
2 2020年度事業計画案並びに予算案  
3 その他特別委員会関係

#### 3. 正副部会長会議

部会運営並びに全国視覚障害者情報提供施設協会との連絡調整会議等を含め  
随時開催(メール協議含む)する

#### 4. 委員会活動

##### (1) 情報機器等支援者講習委員会

第10回情報機器等の支援者講習会開催準備並びに運営  
3回開催(4月、7月、11月 東京都)

- (2) 点字指導員研修委員会  
2019年度点字指導員講習会開催準備並びに運営  
4回開催（7月、10月、11月、2月 岐阜市ほか）
- (3) 音訳指導員研修委員会  
第38回音訳指導員講習会開催準備並びに運営  
6回開催（4月、6月、8月、10月、12月、1月 玉水記念館ほか）
- (4) 音声版選挙公報製作委員会  
研修会運営、参議院選挙準備、日本盲人福祉委員会PJ三媒体との打合せ会等
- (5) 特別委員会
  - ① 指定管理者制度調査研究委員会  
「指定管理者制度導入施設実態調査結果の検証」
  - ② 実態調査プロジェクト「日本の点字図書館35」の委員会（5～7月、大阪市）  
並びに調査の実施

## 5. 講習会等の開催

- (1) 情報化対応支援者講習会（第10回情報機器コース）  
期日：2019年7月31日（水）～8月2日（金）  
会場：日本ライトハウス情報文化センター（大阪市）
- (2) 2019年度点字指導員講習会  
期日：2019年8月30日（金）～31日（土）  
会場：大田区産業プラザ（東京都）
- (3) 第38回音訳指導員講習会（第15回認定講習会）  
期日：2019年11月27日（水）～29日（金）  
会場：玉水記念館（大阪市）
- (4) 情報化対応支援者講習会（相談支援コース）  
期日：第3回基礎 2019年11月未定  
会場：日本点字図書館（東京都）  
期日：第2回応用 2020年2月頃（未定）  
会場：日本ライトハウス情報文化センター（大阪市）
- (5) 音声版選挙公報製作研修会  
期日：2019年5月23日（木）  
会場：TKP品川カンファレンスセンター（東京都）

## 6. その他

- (1) 日本点字委員会総会への参加 6月1日～2日（大阪市）
- (2) 日本盲人福祉委員会視覚障害者選挙情報支援プロジェクトへの参加  
音声版選挙公報製作委員会委員長、事務局等
- (3) 障害者放送協議会著作権委員会及び同放送・通信バリアフリー委員会並びに  
同 災害時情報保障委員会参加
- (4) 日本図書館協会との連携

(5) その他関係団体行事

- 5月26日～28日 第72回全国盲人福祉大会（札幌市）
- 6月13日～14日 全視情協新任管理者研修会・通常総会（東京都）
- 6月20日～21日 第67回日盲社協大会（帯広市）
- 7月11日～12日 全視情協サピエ研修会（大阪市）
- 10月3日～4日 第46回全視情協大会（宇都宮市）
- 11月21日～22日 第105回全国図書館大会（津市）
- 11月1日～3日 サイトワールド2019（東京都）

自立支援施設部会

2019年度においては、部会各施設の事業の活性化、地域の福祉ニーズに応じていくための高い専門性の追求、医療等の外部機関との連携強化等々の課題を明確にし改善の方向性を探り、地域における施設の存在価値を高めていく視点から職員研修会及び助成事業を中心に以下の活動を行っていく。

1. 職員研修会の開催

期日：2019年11月予定

場所：未定

テーマ：部会各施設が抱える事業課題、地域の視覚障害者のニーズ、国の施策の動向を踏まえ、2019年度においても以下の観点を中心にみのりある研修会を実施する。

・機能（生活）訓練事業のあり方（事業の活性化）について、助成事業の『視覚障害者のための自立訓練施設ディレクトリー（要覧）』作成状況も踏まえ、議論を深める。

- ・盲人ホームの現状と今後のあり方について
- ・高齢視覚障害者への生活支援と連携について

2. 医療機関・団体とのネットワークの構築

スマートサイトへの参画など地域医療機関との現状確認と連携のあり方、医療から福祉へのシームレスな支援体制の構築など、包括的な地域福祉ネットワークにおける部会各施設の機能と役割について、全国大会、職員研修会等にて協議し情報共有していく。

3. 助成事業

生協補助金を活用し下記の助成事業を進める。

『視覚障害者のための自立訓練施設ディレクトリー（要覧）』作成配布事業

## 【概要】

ますますそのニーズが高まる視覚障害者を対象とした自立訓練（生活訓練）事業内容の実態について全国を対象に情報を入手し、『視覚障害者のための自立訓練施設ディレクトリー（要覧）』として、冊子・CD（テキストデージー）を作成し全国の視覚障害支援団体に配布する。

## 【成果物とねらい】

本協議会自立支援施設部会内に作成委員会を組織し、『視覚障害者のための自立訓練施設ディレクトリー（要覧）』冊子墨字版 350 部、CD（テキストデージー）版 350 枚を作成し、全国の加盟施設および視覚障害福祉関係団体、盲学校、医療団体等に配布する。

また、配布先の各施設・団体において、『ディレクトリー（要覧）』の情報を必要に応じ公開・周知・習得することにより、

①職員一人ひとりの知識の共有と向上、②地域における視覚障害者向け生活訓練等のサービス情報の正確迅速な取得と利用促進、③視覚障害当事者のサービス利便性の向上、④事業の活性化、等の効果をめざす。

4. 盲人ホームの現状と今後のあり方（運営状況、障害福祉サービスへの移行状況、顧客増）について、研修会等にて情報を共有し、議論を深め、今後の方向性を探る。

## 生活施設部会

### 1. 生活施設部会事業部会の開催

- 日時 2019年6月20日(木) 16時10分～17時40分  
会場 北海道ホテル  
議題 1 平成30年度事業報告並びに収支決算報告  
2 2019年度事業計画並びに収支予算  
3 生活施設部会の決議事項を実現させる為の活動  
4 参加施設による情報交換(各施設の状況等)

### 2. 生活施設部会施設長並びに職員研修会の開催

- 日時 2019年11月28日(木)～29日(金)  
会場 検討中  
研修内容 検討中

## 盲人用具部会

### 1. 部会の活動テーマ

- (1) 視覚障がい者への用具の啓蒙活動
- (2) 健常者への日常生活用具への理解の促進

### 2. 2019年度事業計画(案)

- (1) 日常生活用具について、市区町村の福祉課の担当者に正しい理解をしてもらえるよう、Web またはメルマガを発行し、視覚障害者の福祉用具に関する情報を配信する。
- (2) 各種要望に応じて展示会参加
- (3) 一般の最新機器に関する情報収集

## 盲人ホーム杉光園 2019 年度事業計画

杉光園は、2018 年度に 2 名の一般就労と、1 名の開業を実現したが、利用者の中には、未だに長期にわたっての利用、あるいは終着点としての利用を考えている者も少なくなく、その影響から、活気を感じることができない状況も散見される。

そこで 2019 年度においては、より活気のある杉光園を実現し、その結果として、杉光園が目指す「職業的自立」に結びつけることができるように、以下の項目を実施していくこととする。

### 1. 患者の獲得を目指しての資質の向上

より良い施術を提供することが、患者の獲得にもつながるので、利用者一人一人の技術力、対応力、知識力の向上に努める。そのために、指導員の指導時間を増やし、患者の主訴にも十分対応できるようにする。

また、杉光園で作成した「施術マニュアル」を十分活用したい。

### 2. 関連機関との連携強化

平成 28 年度に利用者の確保や情報交換等を目的として、都内の理療養成機関や盲人ホームなど 7 施設が集まって「就労支援施設連絡協議会」を設立し、就労に向けての協議を重ねてきた。

また、協議会主催の「三療セミナー」も開催し、就労を目指す視覚障害者へのアピールも行ってきた。

こうした動きの成果は、まだはっきりした形では現れて来てはいないが、2019 年度も継続して、協議会における協議を重ねたり、企業なども対象に含めた「三療セミナー」を実施することで、成果は現れると考えている。

### 3. 施設外実習の実施

同じ施術であっても、それを実施する場によって手技等に違いがあることを十分理解できていない利用者も少なくない。

そこで 2019 年度は、ヘルスキーパー等の実際を経験できるように、施設外での実習を実施したい。

### 4. 災害時対応の共有化

近年、増加している各種災害の発生時の対応についてのマニュアルを作成すると共に、安全確保後の事業継続についても新たに検討をしたい。

## 東京視覚障害者生活支援センター 2019年度事業計画

センターは2019年度、民間移譲から3年目を迎え、建て替えに関する動きを本格化していかなくてはならないが、現状では建て替え期間中の仮設場所が決まらないため、新しい建物の設計等が先行している状況である。建て替え場所については、都営地を最優先としているが、東京都もオリンピック等の影響もあり、候補場所を探しめぐっており、場合によっては、建て替え時期を先延ばしする可能性についても、選択肢に入ってきた。

事業運営については、2年目も順調に推移しているが、事業の安定運営のためには、底辺の拡大等を考慮する時期に入ってきたと考えている。また、民間移譲への準備期間と民間移譲後の期間が数年にわたり、その間、収入の確保を中心に走り続けてきたが、一度立ち止まって、訓練の質や内容を見直すことも重要な時期になってきたと判断しており、年度を通して取り組んでいきたい。その際、職員の質の向上も考慮に入れ、計画的な研修計画を作成し、実施することとする。

さらには、近年、発生確率が高くなってきている各種災害への備えや発生時の事業継続について、より具体的な検討を行い、文書として整備することを目標とする。

### 1. 底辺の拡大に向けて

利用者数は、定員の2倍を維持しているが、最近の傾向では、新規の利用者数が減少してきている傾向がみられる。従来より実施している、行政対象の見学会や体験訓練は継続的に実施してきているが、さらなる充実を図るとともに、見学会の対象の拡大をまず行いたい。具体的には、医療機関であったり、企業であったりと、今まであまり対象としてこなかったところを目標とする。各対象について、最低1回は実施するとともに、特に医療機関については、東京都眼科医会とも連携が取れるようになってきた状況から、眼科医会を通して医療機関に呼びかける形で、柔軟に見学を受け入れることとする。

体験訓練会については、希望者に個別に実施もしているが、従来通りの土曜日の体験会も継続実施していく予定とする。

就労関係については、2018年度に人材登録会社と協力する形で、主としてヘルスキーパーをテーマに研修会を開催し、利用者の確保に向けた試みを実施したが、2019年度も継続的に実施することとしたい。

これらの動きは、年度ごとの重点事項というより、今後、センターの一般的な事業と位置付けて継続を図る予定である。

ホームページについては、より内容を充実したものとし、センターの事業内容が分かりやすいものとするために、上半期を目標として改善を実施予定とする。

## 2. 訓練の質の充実について

多くの利用者を受け入れることができるように、訓練の提供方法を工夫してきたが、利用者にとって、「良い訓練を受けることができた」と感じられるような内容も併せて充実させていくことを目標とする。

毎年、年度当初には訓練の見直しを小規模で行っているが、民間移譲前から移譲後までに継続してきた訓練方法や内容を、その評価も含めて見直しを行い、さらにサービスの質の向上を目指していきたい。これには、訓練項目の洗い出しや、新たな項目の導入、新たな提供方法も含まれるものであり、聖域なしの見直しを進めることが必要だと考えている。

見直しの目標時期としては年内とし、具体的な成果物の作成を、もう一つの目標とする。

また、訓練の質の充実に直結する職員の質の向上については、外部、内部問わず、年度当初に研修計画を立案し、組織的かつ計画的に実施していくこととしたい。外部研修については、研修内容を吟味したうえで、予算の範囲内で金銭面での支援も実施することとする。

## 3. 災害への対策

以前に比べると、その発生頻度が増してきている各種災害への対応を今一度見直し、事業継続計画（BCP）についても策定することを目標としたい。災害時の備蓄品については、2018年度に更新しているが、その量や質についても、常に見直しを進めていきたい。

センターが単独で災害対策を練り上げるだけでなく、近隣との協力関係をいかに築いていくかも含めての検討項目となる。

## 4. 他の社会資源との連携の強化

東京都ロービジョンケアネットワークへの参加に留まらず、相談支援事業所間の連携、就労関係事業所との連携、そして、課題となっている高齢者関係施設との関係性を少しでも築いていくこととする。

また、各地に存在している視覚障害当事者のグループ等に対しても働きかけを行い、視覚障害当事者のニーズの把握や開拓を進めることで、併せてセンターの事業内容の見直しにもつなげたい。

## 検定試験事業 2019年度事業計画

受験者数：一部合格者を含み、80名（予定）

実施場所：東京・大阪・名古屋・福島

- 4月中旬～下旬に第1回運営委員会。試験運営内容の検討、事業・予算・スケジュール確認等
- 5月中旬に第1回検定実施委員会。前回の試験結果ならびにチラシ・募集要項案を検討、メールなどでのやり取りのあと、
- 6月初旬にチラシ、中旬に募集要項が完成予定
- 6月下旬から募集要項を会員施設、日盲連加盟施設、盲学校などに配布開始。試験委員に試験問題案作成を依頼
- 7月1日（月）から受験申込受付開始、9月10日（火）締め切り予定。  
実技試験問題案は7月20日、学科問題案は7月末日頃に提出締め切り
- 8月上旬に第2回検定実施委員会（試験問題の検討他）
- 8月下旬に第3回検定実施委員会（試験問題の検討、音声版依頼、他）
- 9月上旬に第4回検定実施委員会（試験問題の検討、音声版確認・作成依頼）
- 9月下旬に第5回検定実施委員会（試験問題の検討、試験注意事項の検討他）
- 10月初旬～中旬に試験問題製作を依頼
- 10月中旬に第6回検定実施委員会（試験問題の確定、試験注意事項の決定他）
- 10月中旬～下旬に受験票、試験注意事項等発送・試験問題製作開始
- 11月17日（日）に試験実施
- 11月24日（日）に採点（東京）センター
- 12月上旬に第7回検定実施委員会（試験合否案検討、実施結果総括、次年度事業計画案検討等）
- 12月中旬に第2回運営委員会（試験合否決定、公表決定、決算見込案確認、次年度事業計画案・予算案検討・確認等）
- 12月下旬に試験結果発送、公表
- 1月下旬に合格証書発送